

# さいたま市立宮原小学校

# 学校だより

平成29年5月1日 第2号



学校教育目標 心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成  
・たがいに努める子・たがいにきたえる子・たがいに手をとる子

〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-102-6  
Tel 048-664-5153 FAX 048-664-8989

期待感のある学級、期待感のある学校。  
校長 新堀 栄

木々の緑が色を増し、眩いほどの若葉をわたる風に何とも言えぬ心地よさと自然の活気を感じます。風薫る5月。一年で一番過ごしやすい季節となりました。自身の通勤路では、大宮氷川参道のけやき並木の新緑に清々しさと活力を感じます。

新学期が始まり、ひと月程が経ちました。お子様の様子はいかがでしょうか。新しいクラスには、もう慣れたのでしょうか。校内を回っていると、「おはようございます。」「こんにちわ。」など、気持ちのよい挨拶をする子が増えてきたように思います。また、子ども達が落ち着いて授業に臨んでいる様子や、活発に意見を交わす様子が見られます。声に張りがあり、目が輝いているのです。まるで、子ども達の張り切っている心の輝きが伝わってくるようです。

先日、同じように校内を回った折に、各クラスに掲示してある「自己紹介カード」に目がとまりました。そこには、自分の趣味や特技、クラスみんなに一言という記述欄とともに、「どんなクラスにしたいか」を書く欄がありました。「明るくて、楽しいクラス」や「友達同士が仲の良いクラス」なるものが大半を占めていました。

そのような中、高学年のあるクラスには、『毎朝、\*〇年〇組に入るのが楽しみなクラス』という記述がありました。この何気ない1行に、「今日はどんな新しいことが待っているのだろう。」「どんな楽しいことが起こるのだろう。」という、子ども達の新しいクラスへのワクワク感や期待感、そして希望、その他にもクラスに必要な安心感、信頼感、所属感など、全てが詰まっていることを感じました。

自身の担任時代の学級経営の目標は、「学校に来ることが楽しいと思える学級づくり」でした。立場が変わっても、現在の学校経営の重点の一つが「子どもにとって、来ることが楽しいと思える学校づくり」であり、合致するところがあります。

4月の人事異動があり、まだまだ新体制が整ったとは言い難いですが、職員一同、毎朝、子ども達が期待でワクワクすることができるような、そんな学級・学校をつくっていきたく思います。

そして、子ども達も、5月の空に元気に泳ぐ鯉のぼりの如く、大きくたくましく成長してほしいと思います。

(\*〇年〇組には、自分のクラスが書いてありました)

今月の生活目標 「落ち着いて生活をしよう」

## 1年生の給食が始まりました。「いじめ防止」に取り組みます。

他の学年より少し遅れましたが、4月19日(水)から、1年生も給食が始まりました。真新しい給食着を着た1年生が、担任と一緒に給食の時間の約束を確認しながら配膳食事、後片付けを行いました。1年生の教室を訪ねると、とても和やかな雰囲気が進められており、「給食は、どうですか。」との問い掛けに、「とてもおいしいです。」「全部、残さず食べられました。」「おかわりをしました。」など、笑顔で答えていました。

給食は、栄養士が考えた献立を毎日、給食調理員がつくっています。また、給食委員の児童が、お昼に献立の紹介をしたり、給食室前で片付けの手伝いをしたりします。さまざまな方々の手が掛けられていることを知り、また、その方々に感謝の気持ちをもって、給食を残さず、おいしく食べてほしいと思います。

本校では、今年度も「いじめを絶対に許さない、見過ごさない」を基本姿勢に、引き続き、教職員一同「いじめ防止」に取り組んでまいります。4月19日(水)には、第1回いじめ対策委員会を開催し、今年度の本校のいじめ防止基本方針を始め、具体的な取組等について説明及び確認を行いました。保護者や地域の皆様にも本校の子どもたちを見守っていただくとともに、心配なことがございましたら、担任等にお話してください。

なお、報道等で取り上げられておりますが、「東日本大震災により被災した児童や原子力発電所事故により避難している児童へのいじめ防止」にかかわり、「文部科学大臣」より保護者、地域の皆様向けに発出されましたメッセージを、以下に掲載いたします。

東日本大震災により被災した児童生徒又は原子力発電所事故により避難している児童生徒へのいじめの防止について (文部科学大臣メッセージ)

平成29年4月11日

(保護者、地域住民の皆様へ)

子供たちは、親や地域の大人の言動を見ています。被災児童生徒へのいじめの背景の一つには、避難されている方々への誤解や、被災地の状況や放射線に関する理解不足からくる、大人の配慮に欠ける言動があるとも考えられます。まずは大人である私達が、被災された方々、故郷を離れて生活をされている方々の思いを理解すること、放射線について科学的に理解するとともに、科学的に思考し情報を正しく理解することが必要です。

## 保護者・地域の皆様へ ～お知らせ～

### 学校安心メールの登録について

本校では、「さいたま市学校安心メール」システムを導入し、学校から災害、犯罪、不審者等の緊急情報の他、学校行事のお知らせ等を配信しております。まだ、登録をされていない方は、ぜひ登録していただきますようお願いいたします。不明な点は、担任又は教頭までお問い合わせください。

### 人権教育への取組

本校では、今年度「人権教育」の研究に取り組むこととなりました。主題を「人権感覚を高め、互いのよさや違いを認め合える児童の育成」とし、国語、算数の授業や学校行事等を中心として、全ての教育活動において、関連付けた取組を行うことを考えております。自分のことも友達のこととも理解し、お互いを大切にする児童の育成を目指してまいります。

### 体罰・暴言等不適切な指導に関する調査票の提出先

先日配付しました、上記調査票の提出先に示しました「相談箱」は、職員室前に設置しています。

### 児童の交通安全について

地域の方から、子どもたちの放課後の交通安全について、ご指摘をいただきました。

- ・集団で道路に広がるようにして自転車やキックボードに乗っているため、通行の妨げになっていること。
- ・自転車で急な飛び出しをしていること。

学校でも、1, 3年生対象の交通安全教室、4年生対象の自転車運転免許講習の実施や、日々の学級指導等を通して、安全指導を行ってまいります。「自分は事故に遭わない。」ではなく「事故が起こるかもしれない。」と想像し、行動してほしいと思います。ご家庭でも話題にさせていただくとともに、ご指導をお願いいたします。また、地域の皆様には、子どもたちへの声掛けや見守りをお願いいたします。